

第42回 G7 サミットと闘う日本の民衆への連帯声明

フィリピン新民族主義者同盟 (BAYAN)

私たち新民族主義者同盟 (BAYAN) は、5月26～27日の伊勢志摩での第42回 G7 サミットに抵抗する日本の民衆に私たちの連帯の挨拶を送ります。このサミットは、独占資本主義のますます悪化するグローバルな危機のただ中で、そして安倍政権の下でますます悪化する日本自身の政治的・経済的危機のただ中で開催されます。

米国を先頭とした G7 諸国によるこの第42回サミットは、イラクやシリアでの ISIL/ダーイシュによるテロリズムへの対抗に焦点があてられようとしています。G7 諸国は米国の軍事的・政治的・経済的な押しつけに抵抗してきたシリアに対する米国の戦争を支持しています。

この米国が率いる同盟は、アジア太平洋地域における競争相手である中国の台頭に対抗することをも追求しています。米国のアジア回帰は、米軍基地を使って中国を包囲するために、米国と日本、韓国、フィリピンなどとの様々な二国間軍事同盟を利用して進められています。

米国は日本軍国主義の台頭、新安保法制、アジア太平洋地域への日本の軍事的触手の拡大を支持してきました。米国はまた、米比防衛協力強化協定の下でフィリピンに米軍基地を舞い戻らせようとしています。

G7 諸国は同様に、米国の武力による威嚇に対抗して領土保全と主権を主張する朝鮮民主主義人民共和国による弾道ミサイル発射や核実験に対して、アジアにおけるパートナーたちと互いに連携を強めようとしています。

「暴力的過激主義および暴力の過激化」と戦うという口実の下、G7 諸国は実際には主権国家に対する侵略戦争を遂行し、最悪のかたちで人権侵害その他の犯罪を行っています。

G7 の独占資本主義国は貧困国に対して新自由主義経済政策を押しつけ続けています。帝国主義諸国は独占資本主義の危機のツケを低開発の植民地・新植民地に転化しようと絶望的な試みをしています。独占資本家たちは、帝国主義諸国自身の労働者のみならず、被抑圧国の労働者・民衆からもさらに搾り取るために、より大規模な経済統合とさらなる自由貿易協定を要求しています。民衆の側は、環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) などの貿易協定に強く反対しています。

私たちはアジア、ラテンアメリカ、アフリカで、輸出志向型農業のために土地を奪われ続ける貧農たちの極度の貧困、自分と自分の貧しい家族をкаろうじて支えることができるだけのわずかな賃金しか受け取っていない労働者による契約労働という犠牲の上に進められる企業の貪欲な行動を目撃しています。そしてまた、ヨーロッパでの悪辣な緊縮政策、そしてヨーロッパや北アメリカを覆う経済危機を止めるためとされる社会サービスの劇的な削減を目撃しています。

BAYAN は、安倍首相が G7 サミットの機会を日本での天皇制を永続化するための手段として利用しようと計画していることに対する日本の民衆の確固たる反対を支持します。天皇ヒロヒトは第二次世界大戦期の植民地戦争とファシズムの象徴でした。彼の息子である天皇アキヒトはアジア民衆に負わせた戦争の恐怖について、アジアの民衆に謝罪していません。アメリカ帝国主義との競合のなかで日本の拡張主義の名の下に虐殺された何百万人もの民衆の正義はいまだ実現されていません。

私たちは、「サミットの安全な開催」という名の下での日本の民衆、とりわけ G7 サミットに反対する人々に対する、高まる弾圧と権利の侵害を弾劾します。私たちは G7 サミットと日米軍事同盟に反対する活動家や団体に対して強行された違法逮捕と強制捜索を強く弾劾します。私たちは、京都と大阪で逮捕されたアジア共同行動 (AWC) の3人のメンバーの即時釈放を要求します。

深刻化する世界規模での民衆の貧困と世界の民衆に対する G7 勢力の結託のなかで、BAYAN は日本の皆さんに、断固として、そして創造的に反撃し、団結し、真の自由と社会正義が実現される新しい世界を築いていくことを呼びかけます。#